

廣峯ものがたり（五月）
素戔嗚尊と奇稲田媛命

「夫婦の絆」

休日にくらりと訪れた廣峯神社で結婚式に遭遇する。

朱もうせんが映える拝殿の中央に、初々しい婚礼衣裳のふたりが座り、それぞれの親族たち、友人らが、優しく見守っている様子が微笑ましく感じられました。

国の重要文化財である本殿・拝殿を舞台にした神前挙式。ほかの結婚式場のような華やかさはないが、荘厳な雰囲気がい、本物の優雅さに溢れていました。

廣峯神社は、ご本殿に鎮座する素戔嗚尊と奇稲田媛命がご夫婦と云うこともあって、縁結びの神社としても広く知られ、毎年、数十組のカップルが神前挙式を挙げられているそうです。



その素戔嗚尊と奇稲田媛命との出会いは、日本神話で有名な「ヤマタノオロチ退治」に登場します。

出雲に住む足名椎命と手名椎命夫婦の末娘を、八つの頭と八つの尾を持つ巨大な大蛇ヤマタノオロチから見事に救い、そして助けた娘を妻に迎えました。その時の喜びを歌に詠んだのが「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠に 八重垣作る その八重垣を」で、日本初の和歌と言われています。

夫婦になると、様々な問題が多少なりとも生じるものです。大切なのは相手を思いやる心と夫婦の絆。そこで、廣峯神社の素戔嗚尊と奇稲田媛命の夫婦神にあやかっ、幸せな家庭が築けるよう祈願してみましよう。